

JOYO BANK



常陽銀行ミニディスクロージャー誌

2013

第123期 事業の中間ご報告

平成25年4月1日～平成25年9月30日

平成25年度上半期のわが国経済は、「三本の矢」を柱とするアベノミクスのもと、デフレからの脱却や経済・産業の再興に向けた政策効果の動きが進展し、円安・株高を背景として緩やかに回復しました。茨城県経済は、前半は弱含みで推移しましたが、夏場以降、先行きへの期待感とともに緩やかに回復し、生産や個人消費などに持ち直しの動きが見られました。

こうした経済環境のもと、当行は、目指す姿を「地域と共に成長するベストパートナーバンク」とする第11次中期経営計画(平成23年度～25年度)を進めました。計画最終年度の当中間期は、お客さま、地域の復興と成長に貢献するため、引き続き「常陽地域復興プロジェクト『絆』」を中心に諸施策を展開いたしました。

法人分野では、多様な資金調達ニーズに積極的に対応するとともに、平成25年4月に産学官連携チームを設置し、地元大学や研究機関等との一層の連携強化を進め、お客さまの成長を後押しする事業支援の充実を図りました。新事業支援では、地域のものづくり企業が大手

企業と共同で新たな技術や商品開発を目指す「事業協創プロジェクト『アクションD』」を開始したほか、事業プランの作成から事業化まで一貫して支援する「常陽新事業創出支援パッケージ『絆』」の活動を展開いたしました。アグリビジネス支援では、農林漁業成長産業化支援機構と共同で「常陽 大地と海の成長支援ファンド」の組成に向けた準備を進めるとともに、「常陽アグリ交流会セミナー」を開催するなど6次産業化に向けた支援を充実させました。海外進出支援では、「日中ものづくり商談会@上海」に加え、初めて「食の商談会 in シンガポール」を開催し、お客さまの海外販路拡大支援に取り組みました。また、来夏にニューヨーク駐在員事務所を設置し、海外進出支援態勢の一層の充実を図るとともに、グローバルな金融経済情報の収集機能を強化してまいります。

個人分野では、ローンや投資信託・保険商品の拡充に加え、高齢者施設の入居や転勤等の住み替えに伴う空家対策として既存住宅を活用した「常陽リバースモーゲージローン『住活スタイル』」の開発や、市町村の住宅取得助成制度等と組み合わせた「子育て支援住宅ローン」の取

## 経営理念

### 『健全、協創、地域と共に』

地域金融機関として、お客さまのため、地域のために  
何ができるのか、懸命に考え実践してまいります。

## 当行の概要 (平成25年9月30日現在)

創 立	1935年(昭和10年)7月30日
資 本 金	851億13百万円
店 舗 数	国内：178店舗(本支店151、出張所27) 店舗外現金自動設備 233カ所 海外：2駐在員事務所(上海、シンガポール)
従 業 員 数	3,791名
本 店	茨城県水戸市南町2丁目5番5号
格 付	(長期格付) 格付投資情報センター (R&I) AA- ムーディーズ A2

り扱いを開始するなど、地方公共団体等と連携したローン商品の充実に取り組みました。また、教育資金の贈与に活用いただける「常陽教育資金贈与専用預金(応援家族)」の取り扱いを開始したほか、「少額投資非課税制度(NISA)」口座開設に向けた取り組みを推進しました。

店舗ネットワークでは、東京都足立区に「六町支店」を開設したほか、栃木県栃木市に来春に出店を予定する「栃木支店」を小山支店内に先行開設するなど、交通インフラの進展により地域開発や茨城県との経済交流が進む地域への営業拠点網の充実に取り組みました。また、土浦・古河・ひたちなかローンプラザの日曜営業を開始し、全てのローンプラザでの土日営業を実施する態勢を整え、利便性の向上に努めました。

こうした取り組みにより、平成25年度中間期の業績は、貸出金利回りの低下により資金利益は減少しましたが、預り資産販売を中心とした役務取引等利益の増加や株式等関係損益の増加等により、中間純利益が前年同期比14億円増加の124億円、連結中間純利益が前年同期

比22億円増加の142億円となりました。健全性を示す自己資本比率につきましては、単体が13.11%、連結が13.55%となり、引き続き高い水準にあります。

また、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、年間配当は50銭増配し1株当たり9円を予定しております。

第11次中期経営計画の最終年度となる平成25年度下半期におきましても、お客さま、地域の復興と成長への貢献に引き続き取り組んでまいります。

今後とも、お客さま、株主の皆さま、地域の皆さまのご期待にお応えできるよう、役職員一同全力を尽くしてまいります。引き続き一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成25年12月  
取締役頭取

寺門一義

## 【目次】

トップメッセージ .....	1	地域社会への貢献 .....	15
第11次中期経営計画 .....	3	財務諸表(連結) .....	17
地域密着型金融・金融円滑化への取り組み .....	4	財務諸表(単体) .....	18
常陽地域復興プロジェクト「絆」 .....	5	株主の皆さまへ .....	19
業績ハイライト .....	7	常陽ネットワーク .....	21
資産の健全性 .....	10		
個人のお客さまへ .....	11		
法人のお客さまへ .....	13		

※ 本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

目指す姿

# 地域と共に成長するベストパートナーバンク

～総合金融サービスの提供により、お客さま、地域の復興と成長に貢献する～

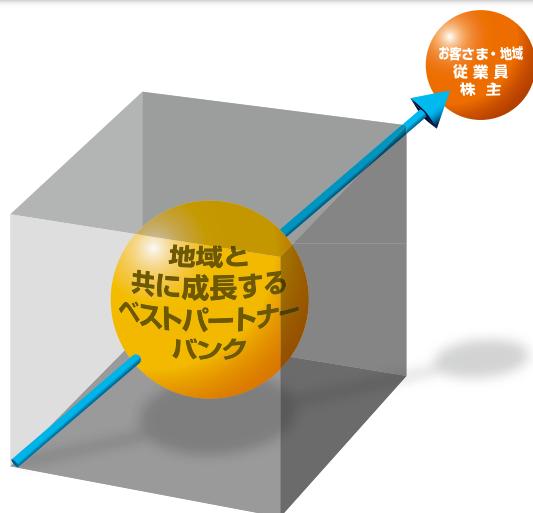
## 基本戦略

- ◎顧客基盤の拡充を軸とし地域の復興・成長へ貢献する
- ◎力強い現場力を軸とし強固な経営基盤を構築する
- ◎人材力の向上を軸とし組織力を強化する

## 経営目標 連結収益力の強化

〈平成25年度計数計画〉

●コア業務粗利益	1,200億円以上	●OHR	50%台半ば
●コア業務純益	500億円以上	●ROE	5%台半ば
●当期純利益	250億円以上	●普通株等 Tier 1 比率	12%程度
●連結当期純利益	270億円以上		



Cubeが表す6つの面は、目指す姿「地域と共に成長するベストパートナーバンク」を実現するための6つの重要な個別戦略を表しています。

また、これらの戦略を実行することによって、お客さま、地域、従業員、株主といったステークホルダーと成長を共有していく姿を、立方体が表す3次元の成長と表現し、第11次中期経営計画を「基盤強化プラン J-Cube」としました。

### J-Cubeの6面が表す重要な個別戦略

1. 顧客基盤の拡充と成長支援強化
2. 資金運用力の強化
3. 現場力の向上
4. 営業チャネルの最適化
5. リスクテイク能力の向上
6. 人材力の向上

# 地域密着型金融・金融円滑化への取り組み

## 地域密着型金融への取り組み

地域経済は地域金融機関の存立基盤であり、地域への円滑な金融商品・サービスの提供を通じて、地域経済・社会の発展に貢献していくことが、地域金融機関の社会的使命です。

この社会的使命を果たしていくため、当行は、以下の3項目を重点項目として、『地域密着型金融への取り組み』を進めてまいります。

- (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
- (2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底
- (3) 持続可能な地域経済への貢献

当行は、地域経済とともに歩む地域の中核金融機関として、地域密着型金融への取り組みを充実させるとともに、総合金融サービスの提供を通じ、地域経済の復興・成長に貢献してまいります。

## 金融円滑化への取り組み

当行では、地域社会・地域経済の維持・発展に貢献することが、地域金融機関としての重要な使命であると考え、平成22年1月に制定した「金融円滑化の取組方針」にもとづき金融円滑化に取り組んでまいりました。平成25年3月に「中小企業金融円滑化法」は期限を迎えましたが、金融仲介機能を積極的に発揮するため引き続き金融円滑化に真摯に取り組んでまいります。また、中小企業の事業支援では、円滑な資金供給をはじめ、グループ会社や外部機関等との連携によるコンサルティング機能を活用し、事業ステージに応じたさまざまな支援に取り組んでまいります。

### 貸付条件の変更等の実施状況(平成25年9月末基準)

	中小企業者向け		住宅資金借入者向け	
	件数(件)	金額(百万円)	件数(件)	金額(百万円)
受付合計	59,217	1,376,331	2,962	32,223
うち実行	56,457	1,321,852	2,455	26,043
うち謝絶	404	8,152	59	679
うち審査中	666	13,594	38	423
うち取下げ	1,690	32,731	410	5,077

注1. 金額は単位未満を切り捨てて表記しています。

注2. 件数および金額は、金融円滑化法施行日(平成21年12月4日)から上記基準時点までの累計となっています。また、件数は債権単位、金額は申し込み時点の債権額となっています。

### 融資ホットライン(フリーダイヤル)

お借入れ条件の変更等に関するご意見・ご要望・苦情などを専門窓口で受け付けています。

 0120-650-225

受付時間：午前9時～午後5時(銀行休業日を除く)

当行は、東日本大震災からのお客さま、地域の復興と成長に貢献するため、「常陽地域復興プロジェクト『絆』」を全力で推進し、さまざまな取り組みを展開しています。

## 資金ニーズへの対応



当行独自の融資商品「常陽震災復興支援融資『絆』（事業者向け、個人向け）」や、株式会社日本政策投資銀行と共同で組成した「いばらき絆ファンド」を活用し、震災復興にかかるお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしています。常陽震災復興支援融資『絆』は、平成25年9月末現在で、累計1,189億円のご利用をいただきました。

## 常陽新事業創出支援パッケージ『絆』

「常陽ビジネスアワード」を軸として、「常陽新事業創出支援パッケージ『絆』」の活動を展開しました。起業家精神の醸成、事業プラン作成から事業の立ち上げ、安定・成長に至る一貫した支援を新事業創出に向けたひとつの新たな事業として捉え、外部機関等と連携し、事業化に向けたさまざまなサポートを行っています。

## 常陽アグリ交流会セミナー

平成25年7月、アグリビジネスの事業拡大を目的とする「6次産業化ファンド」の活用などについて情報を提供するとともに、個別相談会を開催しました。



## 常陽 大地と海の成長支援ファンド

6次産業化<sup>\*</sup>による新事業創出・付加価値の創造を目的として、株式会社常陽産業研究所、株式会社農林漁業成長産業化支援機構と共同で「常陽 大地と海の成長支援ファンド」の組成に向けた準備を進めました。常陽銀行グループと同機構との連携によるコンサルティング機能を発揮し、6次産業化に向けた事業支援に積極的に取り組んでいます。

<sup>\*</sup>6次産業化…1次産業である農林漁業者が、その生産だけにとどまらず、加工食品の製造・販売(2次産業)や小売・観光農園など(3次産業)に取り組むことで、新たな付加価値の創造につながるという考え方。

## 事業協創プロジェクト「アクションD」



平成25年7月、大和ハウス工業株式会社と連携し、事業協創プロジェクト「アクションD」を開始しました。同社と地域のものづくり企業が成長分野における新たな技術開発・商品開発等を共同で行い、地域からの新事業の創出を目的としています。また、当行、いばらき成長産業振興協議会、茨城県、茨城県内の産業支援機関が連携し、中小企業の事業支援に取り組む初めての試みです。大和ハウス工業による技術ニーズ説明会の後、ご応募いただいた提案のなかから選ばれた地域のものづくり企業と個別商談会を開催しました。

## テレビ番組制作

平成25年7月、茨城県の観光振興のため、茨城県と共同で県内の観光スポットを紹介するテレビ番組を制作し、埼玉・栃木県内で放映しました。



国営ひたち海浜公園や大洗サンビーチでのレジャー、常陸牛や海の幸グルメ、地ビールづくり体験など、茨城県の「見る・遊ぶ・泊まる」情報満載の番組となりました。

## 水戸ホーリーホック「常陽サンクスマッチ」



平成25年4月、震災で大きな影響を受けたケーズデンキスタジアム水戸をホームグラウンドとする水戸ホーリーホックに対し、常陽銀行グループがスポンサーとなり「常陽サンクスマッチ」を開催しました。試合では、6千人を超えるサポーターが熱い声援を送り、スポーツによる地域振興を図りました。また、試合前には、親子サッカー教室を開催したほか、応援グッズの無料配布も行いました。

## 食の商談会inシンガポール



平成25年8月、シンガポールに駐在員事務所を置く地方銀行と共同で食の商談会を開催しました。当行は、平成24年9月にシンガポール駐在員事務所を開設したことから、初めての共同開催となりました。現地のスーパー、食品商社、ホテル・レストランのバイヤーなど、約230社が来場し、シンガポールや東南アジア諸国での販路拡大を求める各行のお取引先と個別商談を行いました。

## 常陽フォトコンテスト～地域の魅力発見～開催

地元の方や旅行に訪れた方々を対象に、茨城県内の3地域と福島県・栃木県の観光スポットなどの写真を募集・表彰するフォトコンテストを開催しています。新たな地域の魅力や隠れた観光資源を発掘し、観光振興への後押しを目的としています。第1回の茨城県北編(募集期間：8月6日～9月20日)では、176作品のご応募をいただきました。



## close up!!

### 常陽ビジネスアワード2012 表彰式



平成25年6月、「常陽ビジネスアワード2012」の表彰式が行われ、最優秀賞・優秀賞・奨励賞17プランを表彰しました。常陽ビジネスアワードは、平成24年11月、成長分野等における革新的・創造的な事業プランを掘り起こすことで、地域の方々と共に新産業・新事業を生み出し、地域経済の活性化に繋げていくことを目的に創設しました。なお、平成25年11月より「常陽ビジネスアワード2013」のビジネスプランの募集を行っています。



# 業績ハイライト

## Point

貸出金利回りの低下による資金利益の減少や国債等債券損益の減少等により、**業務純益**は192億円(前年同期比△36億円)となりましたが、株式等関係損益の増加等により、**経常利益**は199億円(同+40億円)、**中間純利益**は124億円(同+14億円)といずれも前年同期を上回りました。健全性を示す自己資本比率につきましては、連結が13.55%、単体が13.11%となり、引き続き高い水準にあります。

### <用語解説>

#### 自己資本比率

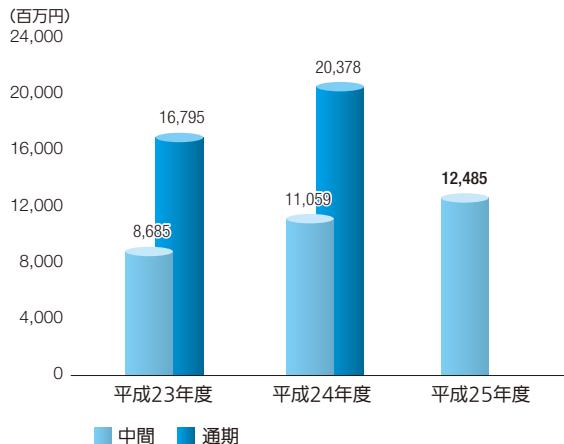
銀行の経営の健全性を表す代表的な指標で、リスク・アセット(総資産のうち、万が一の場合に貸し倒れの可能性がある資産)に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示します。国際的な活動を行う銀行は8%以上、国内のみで活動を行う銀行は4%以上の自己資本比率が求められています。

#### Tier I

自己資本のなかで基本的な項目と位置づけられるものであり、資本金・資本剰余金・利益剰余金などから構成されます。

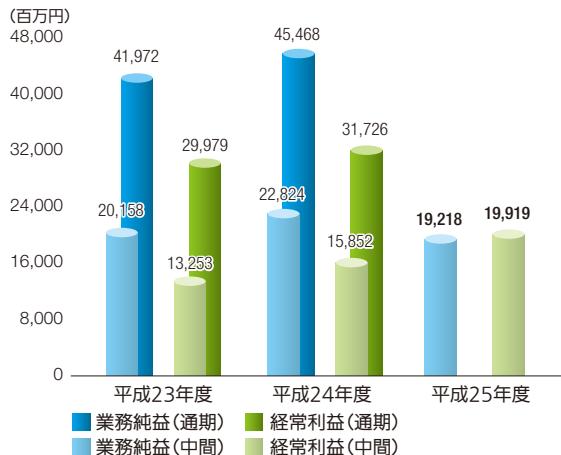
### 中間(当期)純利益

中間純利益は前年同期比14億円増加し、124億円となりました。



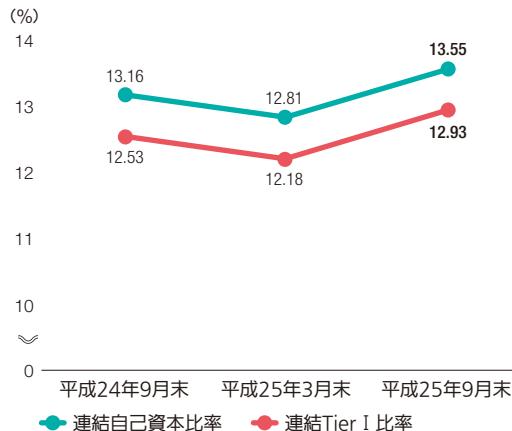
### 業務純益、経常利益

業務純益は前年同期比36億円減少し、192億円、経常利益は同40億円増加し、199億円となりました。



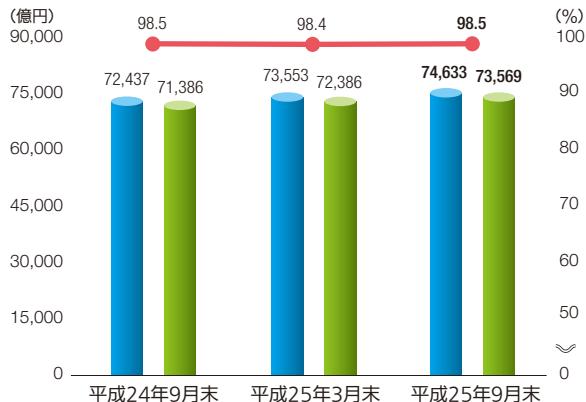
### 連結自己資本比率

引き続き高い水準にあります。



### 預金

前年度末比1.4%増加し、7兆4,633億円となりました。



■ 預金残高 ■ 地域の預金残高 ● 地域の預金残高比率  
 ※『地域』とは、茨城県とその近隣の地域で、営業拠点を有する当行の主要な営業地盤です。(茨城、福島、栃木、埼玉、千葉、宮城)

### 貸出金

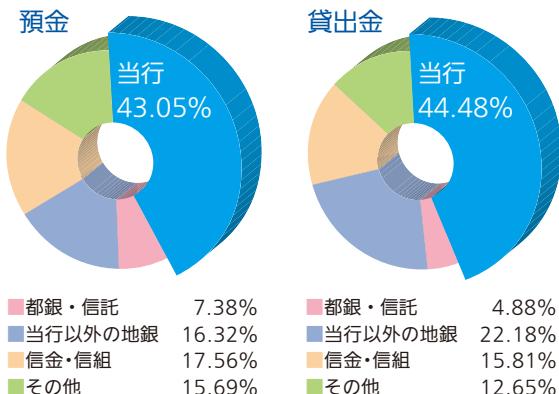
前年度末比1.9%増加し、5兆2,405億円となりました。



■ 貸出金残高 ■ 地域向け貸出金残高 ● 地域向け貸出金比率  
 ※地域向け以外の貸出金は都内・大阪での貸出金で、主として上記の地域に工場や事業所を有するなど、地域と関連の深い企業のお客様向け貸出金です。

### 茨城県内のシェア (平成25年3月末現在)

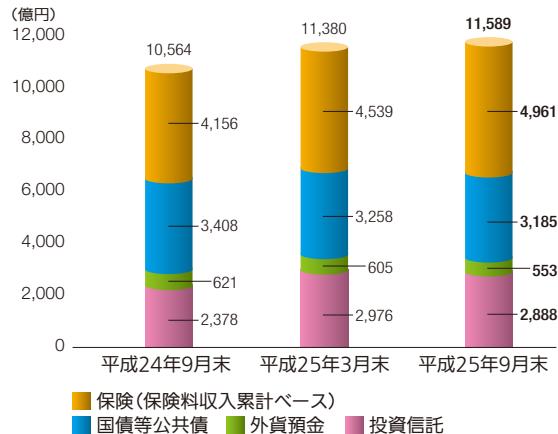
預金・貸出金ともに、引き続き40%を上回る高いシェアを確保しています。



※シェアは民間金融機関ベースで算出しています。

### 預り資産

前年度末比1.8%増加し、1兆1,589億円となりました。



■ 保険(保険料収入累計ベース) ■ 国債等公共債 ■ 外貨預金 ■ 投資信託

# 業績ハイライト

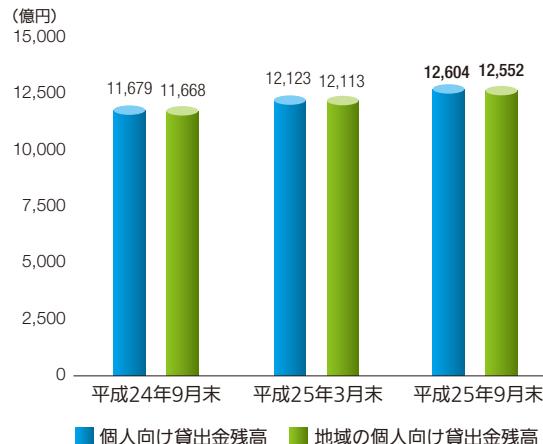
## 住宅関連ローン

住宅ローンは前年度末比4.2%増加し、1兆1,575億円となりました。

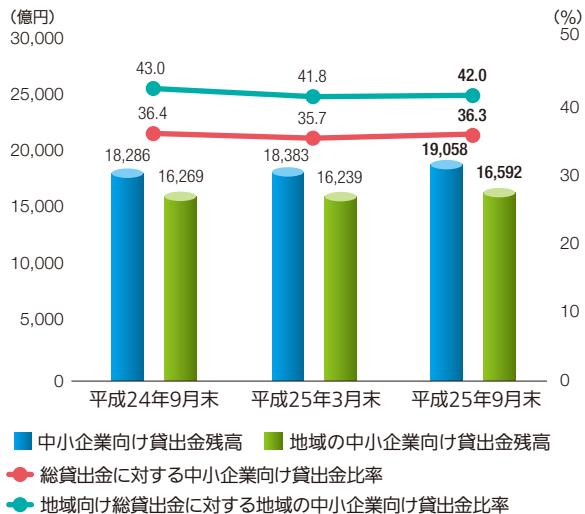


## 個人向け貸出金

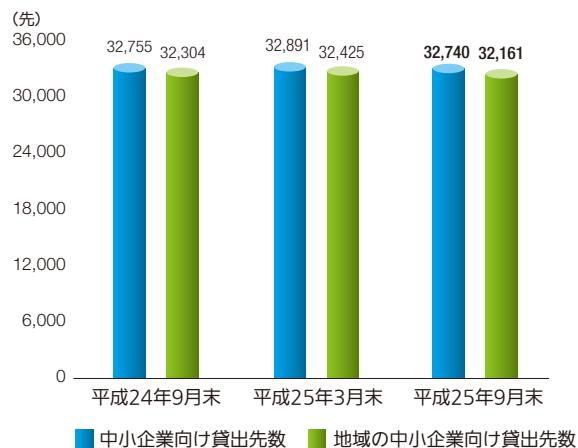
個人向け貸出金は住宅ローンが引き続き堅調で、1兆2,604億円となりました。



## 中小企業向け貸出金



## 中小企業向け貸出先数



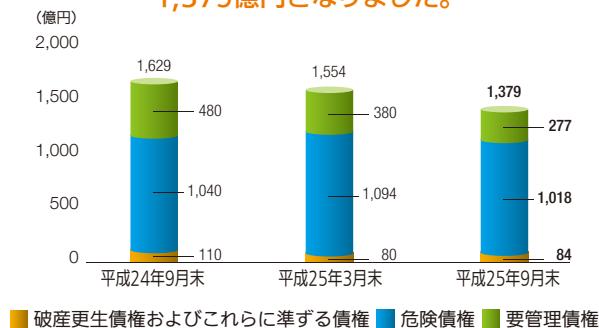
# 資産の健全性

## 金融再生法に基づく開示債権[単体ベース]

当行は、金融再生法に基づき資産査定結果を公表しています。金融再生法では貸出金のほか、支払承諾見返、未収利息、外国為替、仮払金、当行が保証し引き受けている私募債、貸付有価証券等についても開示の対象となっています。

### 開示債権額

金融再生法に基づく開示債権額は  
1,379億円となりました。



(注)記載金額については、億円未満を四捨五入して表示しています。

### <用語解説>

#### 破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産、会社更生、民事再生等により経営破綻した貸出先への債権およびこれらに準ずる債権のことです。

#### 危険債権

経営破綻はしていないが、財政状態などが悪化し、元金または利息の支払いが困難になる可能性が高い貸出先への債権のことです。

#### 要管理債権

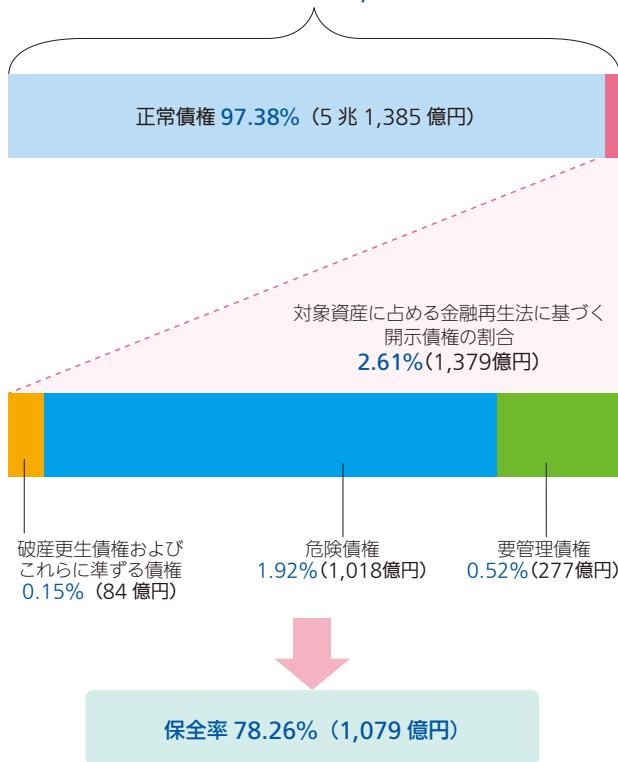
3ヵ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権の合計で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」を除きます。

#### 正常債権

貸出先の財政・経営状態に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外に区分される債権のことです。

## 資産査定額および開示債権の健全状況

対象資産残高 5兆 2,764 億円



健全率 78.26% (1,079 億円)

(単位: 億円)

	保全額	保全率
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	84	100.00%
危険債権	873	85.76%
要管理債権	122	44.14%
合計	1,079	78.26%

(注)記載金額については億円未満を四捨五入して表示、比率については小数第2位未満を切り捨てて表示しています。

# 個人のお客さまへ

## お客さまのライフステージにあわせたご提案

当行は、お客さまのライフステージにあわせたさまざまな商品・サービスをご用意しています。

### 新社会人

社会人デビューを  
サポートします。



#### ●お給料の受取に『常陽総合口座』

常陽総合口座は、お給料の受取から、各種料金のお支払い、貯蓄まで、一つの口座でさまざまな取引が一元化できます。

#### ●便利なサービス『インターネットバンキング アクセスジェイ』

パソコンやスマートフォン、携帯電話で、お振込みや残高照会をはじめ、投資信託などのお取引がご自宅やオフィスから手軽にご利用いただけます。また、住宅ローン・リフォームローンの一部繰上返済が手数料無料でお手続きいただけます。

#### ●ご来店手続き不要『マイカーローン』

自動車、オートバイの購入資金や、車検・免許取得費用等にご利用いただけます。事前審査はインターネットやFAXで、いつでもお申し込みいただけます。

### 結婚・出産

ご家族の安心を  
サポートします。



#### ●無理なく貯める『積立商品』

住宅購入やお子さまの教育資金のご準備には、毎月コツコツ積み立てる商品が便利です。積立式定期預金「常陽エースつみたて」のほか、毎月1万円から始められる投資信託や外貨貯蓄預金もご用意しています。

#### ●万一の備えに『保険商品』

生命保険や医療保険、学資保険の取り扱いをしています。ライフステージに応じた保険商品をご提案し、お客さまの生涯設計をサポートいたします。



### マイホームご購入

夢の実現を  
サポートします。



#### ●住宅ローン

ご自宅の新築・購入や借換など、住まいづくりをサポートします。ローンプラザでは、全店で土・日曜日も営業しており、平日来店できないお客さまもご相談いただけます。また、地域と連携し、新婚世帯や子育て世帯の住宅購入に向けて、住宅取得助成金制度等をご利用のお客さまを対象とした「子育て支援住宅ローン」を取り扱っています。

### お子さまの 進学

#### ●教育ローン 『学援生活』

お子さまの入学金、授業料や送料など、教育に関する費用にご利用いただけます。資金が必要な時にその都度ATMでご利用(お借入れ・ご返済)ができる便利なカードローンタイプもご用意しています。

## 退職後

ゆとりある生活を  
サポートします。



## ● これからの暮らしのために『資産運用』

豊かなネクストライフに備え、投資信託、保険、公共債など多彩な商品をご用意し、資産運用のご相談を承っています。また、当行へ退職金をお預け入れいただくお客さまには「常陽ネクストライフ定期預金」、公的年金をお受け取りいただいているお客さまは「金利優遇定期預金(年金型)」がご利用いただけます。

## ● 老後の安心のために『常陽リバースモーゲージローン』

「常陽リバースモーゲージローン『住活スタイル』」では、お住まいにならない住宅を活用し、高齢者施設への入居や住み替え先の購入、趣味などセカンドライフの充実を図る資金等にご利用いただけます。また、土地信託やアパートローンも取り扱っています。

## ● 大切なご家族のために『常陽教育資金贈与専用預金』

お孫さまなどの教育資金の贈与にご活用いただける「常陽教育資金贈与専用預金(愛称：応援家族)」を取り扱っています。本預金にお預け入れいただいた資金を教育資金のお支払に充当した場合、最大1,500万円が非課税となります。大切なご家族の未来を応援いたします。また、代理店業務として遺言信託や遺産整理業務も取り扱っています。

## close up!!

## 新店舗開設

平成25年7月、「六町支店」を東京都足立区のつくばエクスプレス「六町駅」近くにオープンしました。六町支店は、平成24年8月、草加法人営業所から支店に昇格し、越谷支店内に先行開設しました。都内店初の総合取引店舗となり、開発が進むつくばエクスプレス沿線地域のネットワークが一段と拡充しました。さらに、平成25年8月には、来年春に栃木県栃木市に出店予定の「栃木支店」を小山支店内に先行して開設しました。

ニーサ  
NISAが始まります!

平成26年1月より開始される少額投資非課税制度(愛称：NISA)を前に、当行でNISA口座の開設をお申し込みいただくためのキャンペーンを展開し、平成25年9月末までに3万人を超えるお客さまからお申し込みをいただきました。また、「日経マネー」をはじめとする日経BP社の投資に役立つ専門誌の投資関連記事を専用ホームページ上で閲覧できるサービスや、セミナーの開催など、資産運用に関するさまざまな情報提供を行っています。



## ものづくり事業支援

地域のものづくり事業者の明日からの10年を支援する「next X(ネクストテン)」活動を展開しています。

次の10年を協創します、  
お客様とともに。

**next X**  
10年ロードマップ協創プロジェクト「ネクストテン」

ネクストテン活動では、大学や研究機関の先生方と技術開発や製品開発に関する意見交換を少人数で行う「ひざづめミーティング」を積極的に展開するなど、産学官金の連携を通じた支援を強化しています。

そのほか、大手企業とのビジネスマッチングによる販路開拓支援として「常陽ものづくり企業フォーラム」や、人材育成・技術力の向上を支援する「常陽製造業実務研修会」を開催し、当行のネットワークを生かしたさまざまな支援に取り組んでいます。



ひざづめミーティング



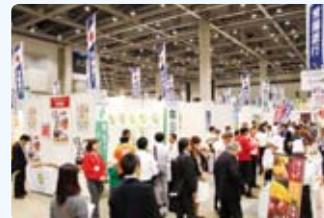
常陽製造業実務研修会

## 産学官連携チーム

ものづくり企業の支援には、企業の持つ技術や製品を評価する力が必要とされます。この目利き力を充実させるため、外部機関・メーカー出身のコーディネーター3名と支店長経験者2名による産学官連携チームを設置し支援態勢を強化しました。当行のコーディネート力を発揮して、大学・研究機関等の外部機関や企業間の連携による新技術・商品開発、事業拡大など企業の成長をサポートしています。

## アグリビジネス支援

食関連事業者の販路開拓支援として、「常陽食の商談会」や、全国の地方銀行と連携した「地方銀行フードセレクション」を継続的に開催し、お客さまへ新たな商談・交流の機会を提供しています。また、茨城県農業信用基金協会の保証を活用した「大地」シリーズや肥育牛を担保とした「動産担保融資(ABL)制度」の取り扱いなど、農業者向けの融資商品の充実を図っています。



地方銀行フードセレクション

## 海外進出支援



外国銀行をはじめ他機関と業務提携し、現地通貨建てのスタンドバイクレジットの発行や情報提供などを通じてお客さまの海外進出をサポートしています。平成25年7月には、フィリピンの「バンコ・デ・オロ・ユニバンク」と新たに業務提携をしました。

また、マッチングイベントでは、平成25年8月にシンガポールで「食の商談会」、同年9月には、中国で「日中ものづくり商談会」を開催し、現地企業との商談と出展社間の交流の場を提供しました。

さらに、当行では、現地駐在員をはじめ、海外の他機関へ行員を派遣するなど、各方面からお客さまの海外進出をサポートする態勢を整えています。なお、平成26年夏にニューヨーク駐在員事務所の開設を予定しており、当行の海外拠点網は、上海、シンガポール、ニューヨークの3駐在員事務所となります。



日中ものづくり商談会@上海

## 医療・福祉事業支援

医療・福祉チームを設置し、今後の事業展開に向けたコンサルティングや新規開業に向けた情報提供などを行っています。また、経営のポイントやリスクマネジメントをテーマとしたセミナーを開催するなど、医療・福祉事業者のさまざまなニーズにお応えしています。さらに、平成25年4月には、「常陽クリニックサポートロー



ン」の商品内容を改定しました。ご融資限度額の拡大に加え、金利優遇の対象項目を追加し、より便利にお使いいただけるようにいたしました。

## 事業再生ファンド

県内金融機関等との共同出資による事業再生ファンド「茨城いきいき2号ファンド」、株式会社リサ・パートナーズとの共同出資による「常陽事業再生ファンド」を組成し、事業の早期再生を支援しています。また、外部機関等との提携拡大によるコンサルティング機能強化にも取り組み、中小企業の事業支援態勢の充実を図りました。

## 法人・事業主向けインターネットバンキング 「JWEBOFFICE (ジェイウェブオフィス)」

残高・明細照会、振込・振替、総合振込、給与振込、代金回収などのお取引がどこからでもご利用いただけるインターネットバンキングサービスです。平成25年2月には「常陽でんさいサービス」を開始しました。JWEBOFFICEを通して株式会社全銀電子債権ネットワーク(通称「でんさいネット」)に電子記録債権の金額や支払期日等を登録することにより、債権の譲渡や割引による資金調達などが行えます。



## 株式会社常陽産業研究所

地域活性化の調査研究の受託やコンサルティング業務を行っています。中小企業診断士やISO審査員など、専門スタッフを揃え、地域の皆さまが抱えるさまざまな課題の解決をサポートしています。

## 財団法人常陽地域研究センター

茨城県をはじめ、経済諸団体、研究機関などと連携し、経済・産業動向、地域開発などの調査研究や出版、講演会の開催、講師の派遣などを通じて、地域経済・社会の発展に貢献する活動を行っています。

## 環境・新エネルギー支援

持続可能な社会の実現に向けて、環境保全に取り組む企業を支援しています。太陽光発電事業を中心とした再生エネルギーの活用や省エネなど、環境保全を推進する設備資金へのご融資の金利を優遇しているほか、環境格付制度を導入するなど環境金融に取り組んでいます。「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」への対応では、「動産担保融資(ABL)制度」を活用した太陽光発電事業支援融資制度の取り扱いをはじめ、太陽光パネル製造業者等との仲介や常陽産業研究所のコンサルティング機能を活用した事業相談など、さまざまなニーズにお応えしています。



# 地域社会への貢献

## 環境保全活動への取り組み

### 環境理念(平成20年制定)

常陽銀行グループは、水と緑に恵まれた茨城県を主要な営業地盤とする企業として、豊かな自然環境を守り育てていくことが、私たちの「社会的使命」と考えています。ふるさとの環境を守り、持続可能な社会を実現するため、地域と連携協力し、環境保全活動に継続して取り組んでまいります。

### 日本の森を守る地方銀行有志の会

全国の地方銀行が設立した「日本の森を守る地方銀行有志の会」へ参加しています。平成25年4月には、東日本大震災で被害を受けた東北地区の自然環境の復興に貢献することを目的として、「東北サミット」を開催し、あわせて被災地域の森林保全活動に取り組みました。

### 常陽ふるさとの森

平成21年9月、茨城県、いばらき森林づくりサポートセンターと「いばらき協働の森パートナーズ協定」を締結し、那珂市に「常陽ふるさとの森」を創設しました。植樹活動などを継続的に実施し、ふるさとの緑を守り育てる森づくりに取り組んでいます。平成25年6月、新入行員とともに、無花粉スギ、ヒノキ、モミ約900本の苗木を植樹しました。また、平成25年3月には、筑波山での植樹活動も実施しました。



## 環境に配慮した店舗づくり

新店舗を中心に、順次太陽光パネルを設置し、環境に配慮した店舗づくりを進めています。



## 公益信託「エコーいばらき」環境保全基金

茨城県内の環境保全や東日本大震災からの復旧・復興支援にかかる活動(環境保全活動に限る)に取り組む団体などに対して助成を行っています。

平成24年度は、助成団体を代表して5団体を招き、団体の活動状況の報告とあわせて助成金の贈呈式を実施しました。

- 概要：平成4年、当行と日本興亜損害保険株式会社により共同で設立。毎年、助成希望者を募集し、運営委員会で審議・選定のうえ助成
- 平成24年度助成金：75件903万円(うち震災関連7件)



## バリアフリーへの取り組み

### パンフレット「人に優しい銀行をめざして」

ご高齢のお客さまや、障がいのあるお客さまへの各種商品・サービスなどを一覽にご案内しています。また、視覚障がいのあるお客さまにもご利用いただけるよう、点字文書もご用意しています。



### 「サービス介助士2級」資格取得者の配置



「視覚障がい者の手引き」研修

身体の不自由なお客さまやご高齢のお客さまに安心してご利用いただけるよう、「サービス介助士2級」資格取得者179名を営業店等に配置しています。

### 車いすの配備

身体が不自由なお客さまやご高齢のお客さまに安心してご来店いただくため、103カ店に車いすを配備しています。

### 点字文書作成サービス

視覚障がいのあるお客さまからご依頼をいただいた際には、取引内容を点字文書で作成しています。

### 視覚障がい者対応のATM

音声案内に従い、点字ボタンのついた受話器でお取引いただけるATMを全店に配備しています。

### 認知症サポーターの養成

認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成に努めており、全役職員が「認知症サポーター養成講座」を受講する取り組みを行っています。

## 公益財団法人常陽藝文センター

「芸術・文化を通じて潤いのある郷土づくり、豊かでゆとりのある暮らしづくりに寄与すること」を目的として、文化



ふれあい催事コンサート  
「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」

普及事業と郷土の文化活動の支援などを中心に、地域の皆さま方と連携して活動を進めています。

また、編さんの詔(みこと)のりから1300年となる『常陸国風土記』について、機関誌「常陽藝文」への連載やパネル展示、講演会などを開催しています。

## 常陽史料館

貨幣や銀行に関する資料を展示する「貨幣ギャラリー」のほか、郷土文化や金融に関する図書資料を公開する「史料ライブラリー」を備えています。また、「アートのスポット」では、随時、企画展示を行っています。



アートのスポット

そのほか、各種団体向けに「金融教室」を開催し、地域の皆さまに金融の歴史などの講義を行っています。

## 常陽ボランティア倶楽部

約3,400名の会員が福祉関連、環境問題、国際交流、スポーツ交流、イベント参加などの分野別に登録し、活動しています。また、東日本大震災の被災地支援活動や、募金活動も行っています。平成25年10月、福島県で行われた「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」のボランティア活動に参加しました。



南相馬市鎮魂復興市民植樹祭

# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表

	(単位:百万円)	
	平成25年度 中間期末 (平成25年9月30日現在)	
<b>(資産の部)</b>		
現金預け金	426,860	
コールローン及び買入手形	2,486	
買入金銭債権	22,754	
特定取引資産	3,221	
有価証券	2,619,206	
貸出金	5,208,223	
外国為替	2,729	
リース債権及びリース投資資産	32,781	
その他資産	48,481	
有形固定資産	94,650	
無形固定資産	10,295	
繰延税金資産	2,807	
支払承諾見返	16,072	
貸倒引当金	△ 49,857	
投資損失引当金	△ 35	
<b>資産の部合計</b>	<b>8,440,678</b>	
<b>(負債の部)</b>		
預金	7,452,441	
譲渡性預金	4,064	
コールマネー及び売渡手形	52,345	
債券貸借取引受入担保金	101,046	
特定取引負債	128	
借入金	174,706	
外国為替	437	
社債	15,000	
信託勘定借	18	
その他負債	67,553	
退職給付引当金	5,084	
役員退職慰労引当金	32	
睡眠預金払戻損失引当金	1,808	
ポイント引当金	132	
利息返還損失引当金	6	
偶発損失引当金	1,667	
特別法上の引当金	1	
繰延税金負債	16,445	
再評価に係る繰延税金負債	11,939	
負ののれん	2,054	
支払承諾	16,072	
<b>負債の部合計</b>	<b>7,922,988</b>	
<b>(純資産の部)</b>		
資本金	85,113	
資本剰余金	58,574	
利益剰余金	292,934	
自己株式	△ 21,027	
<b>株主資本合計</b>	<b>415,594</b>	
その他有価証券評価差額金	89,312	
繰延ヘッジ損益	△ 2,238	
土地再評価差額金	12,295	
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>99,369</b>	
新株予約権	90	
少数株主持分	2,636	
<b>純資産の部合計</b>	<b>517,690</b>	
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>8,440,678</b>	

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

	平成25年度 中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	
<b>経常収益</b>		
資金運用収益	86,143	
(うち貸出金利息)	48,072	
(うち有価証券 利息配当金)	34,869	
信託報酬	11	
役員取引等収益	12,347	
特定取引収益	852	
その他業務収益	6,115	
その他経常収益	18,745	
<b>経常費用</b>	<b>63,755</b>	
資金調達費用	2,444	
(うち預金利息)	1,387	
役員取引等費用	3,628	
その他業務費用	5,078	
営業経費	37,276	
その他経常費用	15,327	
<b>経常利益</b>	<b>22,388</b>	
特別利益	3	
特別損失	230	
<b>税金等調整前 中間純利益</b>	<b>22,161</b>	
法人税、住民税 及び事業税	7,671	
法人税等調整額	120	
<b>法人税等合計</b>	<b>7,792</b>	
少数株主損益調整前 中間純利益	14,369	
少数株主利益	143	
<b>中間純利益</b>	<b>14,225</b>	

### 常陽銀行グループ

常陽コンピューターサービス株式会社  
株式会社常陽リース  
常陽信用保証株式会社  
株式会社常陽クレジット  
常陽ビジネスサービス株式会社  
株式会社常陽産業研究所  
常陽施設管理株式会社  
常陽キャッシュサービス株式会社  
常陽証券株式会社

# 財務諸表(単体)

## 貸借対照表

		(単位:百万円)
		平成25年度 中間期末 (平成25年9月30日現在)
(資産の部)	(負債の部)	
現金預け金	預金	7,463,308
コールローン	譲渡性預金	5,964
買入金銭債権	コールマネー	52,345
特定取引資産	債券貸借取引受入担保金	101,046
有価証券	特定取引負債	128
貸出金	借入金	168,781
外国為替	外国為替	437
その他資産	社債	15,000
有形固定資産	信託勘定借	18
無形固定資産	その他負債	46,094
支払承諾見返	退職給付引当金	4,556
貸倒引当金	睡眠預金払戻損失引当金	1,808
投資損失引当金	ポイント引当金	96
資産の部合計	偶発損失引当金	1,667
	繰延税金負債	17,904
	再評価に係る繰延税金負債	10,942
	支払承諾	16,072
	負債の部合計	7,906,174
	(純資産の部)	
	資本金	85,113
	資本剰余金	58,574
	利益剰余金	284,550
	自己株式	△ 21,647
	株主資本合計	406,590
	その他有価証券評価差額金	89,251
	繰延ヘッジ損益	△ 2,238
	土地再評価差額金	10,466
	評価・換算差額等合計	97,479
	新株予約権	90
	純資産の部合計	504,159
	負債及び純資産の部合計	8,410,334

## 損益計算書

	(単位:百万円)
	平成25年度 中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)
経常収益	75,798
資金運用収益	48,145
(うち貸出金利息)	34,936
(うち有価証券 利息配当金)	12,824
信託報酬	11
役務取引等収益	10,862
特定取引収益	197
その他業務収益	6,110
その他経常収益	10,470
経常費用	55,879
資金調達費用	2,415
(うち預金利息)	1,388
役務取引等費用	4,058
その他業務費用	5,078
営業経費	36,751
その他経常費用	7,574
経常利益	19,919
特別利益	3
特別損失	229
税引前中間純利益	19,694
法人税、住民税 及び事業税	7,076
法人税等調整額	132
法人税等合計	7,209
中間純利益	12,485

# 株主の皆さまへ

## 資本金の推移(平成25年9月30日現在)

	(単位: 百万円)	
	当年度末	前年度末
資本金	85,113	85,113

## 株式の状況(平成25年9月30日現在)

株式数	発行可能株式総数	2,167,515千株
	発行済株式の総数	789,231千株

株主数 28,026名

### 大株主

株主名	当行への出資状況	
	持株数等(千株)	持株比率(%)
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー)サブ アカウント アメリカンクライアント	35,734	4.79
株式会社三菱東京UFJ銀行	28,992	3.88
日本興亜損害保険株式会社	28,973	3.88
日本生命保険相互会社	28,003	3.75
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	22,902	3.07
第一生命保険株式会社	17,049	2.28
住友生命保険相互会社	16,448	2.20
ノーザントラストカンパニー エイ ブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	15,524	2.08
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	15,230	2.04
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505223	11,430	1.53

- (注) 1. 持株数等は千株未満を切り捨てて表示しています。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 3. 当行は、自己株式を43,335千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株式・所有者別状況(平成25年9月30日現在)

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)	
株式の状況(1単元の株式数1,000株)				
政府及び 地方公共団体	3	296	0.03	
金融機関	56	247,136	33.31	
金融商品 取引業者	33	7,782	1.04	
その他の法人	711	129,489	17.45	
外国法人等	個人以外	294	178,731	24.09
	個人	3	67	0.01
個人その他	20,600	178,280	24.03	
計	21,700	741,781	100.00	
単元未満株式の状況	—	4,115,875株	—	

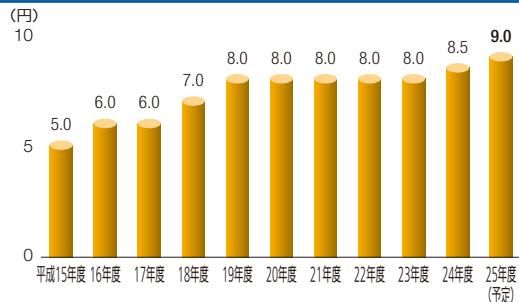
(注) 1. 自己株式43,335,169株は「個人その他」に43,335単元、「単元未満株式の状況」に169株含まれています。

2. 「その他の法人」及び「単元未満株式の状況」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が、それぞれ2単元及び800株含まれています。

## 利益配分方針

自己株式買取額と配当金を合わせて、単体当期純利益の40%以上、うち配当金につきましては30%以上を目安として還元することを当面の方針といたします。なお、平成25年度の1株当たり配当金は、年間9円を予定しています(中間配当4.5円、期末配当4.5円)。

## 1株当たり年間配当金の推移



## 株主優待制度



※特産品の画像はイメージです。

地元特産品を掲載した株主優待カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。なお、株主優待カタログは、毎年3月末時点の株主さまを対象に6月の発送を予定しています。

保有株式数	お選びいただける特産品
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当
10,000株以上	6,000円相当

- (注) 1.本優待制度は、株主ご本人さまのみご利用いただけます。ご家族・ご親戚を含む第三者への譲渡・貸与等はできません。  
2.本優待制度のご利用方法等につきましては、対象株主さまにお送りする株主優待カタログをご参照ください。

## 個人投資家向け会社説明会

当行では、個人投資家の皆さまに当行の業績や営業状況をより深く理解していただくことを目的に、証券会社と連携し、投資家向け会社説明会を開催しています。



開催日	場所	主催証券会社	参加人数
平成25年 9月11日	水戸市	三菱UFJモルガン・スタンレー証券 常陽証券	109名
平成25年 9月20日	つくば市	野村証券	74名

## 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等のお問い合わせ先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711
---

その他、詳細につきましては、当行ホームページをご覧ください。

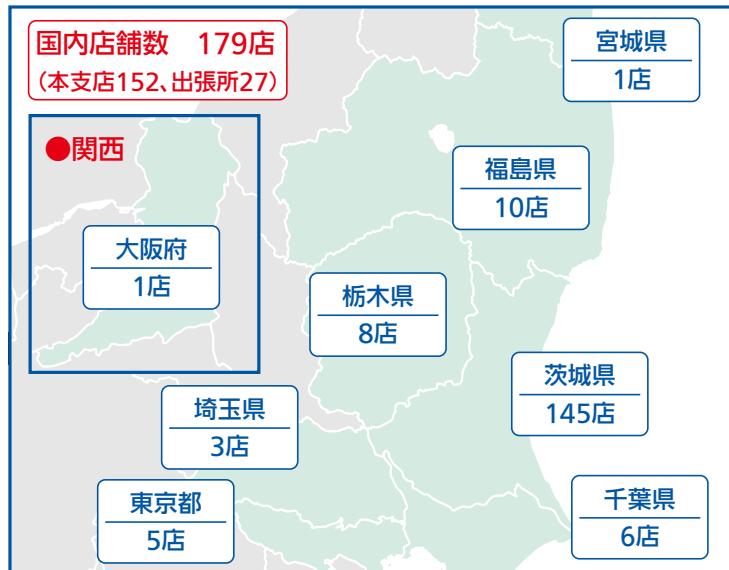
<http://www.joyobank.co.jp/kabunushi/>

# 常陽ネットワーク

お客さまとより多くの接点を確保するため、従来の店舗に加え、さまざまな営業チャネルをご用意しています。

営業ネットワーク (平成25年10月31日現在)

店舗・ATMのご案内ホームページ <http://www.joyobank.co.jp/tempo>



## ハローセンター ☎0120-380-057

電話による定期預金取引受付や商品照会の受付など、さまざまなサービスを提供しています。

受付時間: 平日/午前9時~午後8時 (祝日・12/31~1/3を除く)

### 主なサービス内容

- 個人向け商品のご案内
- パンフレットなどの資料請求受付
- 定期預金電話受付サービス
- 店舗のご案内

## 年金センター ☎0120-310-870

年金に関するご相談を、専門のコンサルタントが無料で承ります。

- 電話相談

受付時間: 月・水・金/午前9時~午後4時30分 (祝日・12/31~1/3を除く)

- ご来店相談 (各店巡回相談・年金教室も随時開催) <予約制>

日本興亜水戸ビル2階: 月・水・金/午前9時~午後3時 (祝日・12/31~1/3を除く)

## カードデスク ☎029-233-3611

常陽銀行が発行しているクレジットカードの各種照会の受付を承ります。

受付時間: 平日/午前9時~午後5時 (祝日・12/31~1/3を除く)

## 投資信託に関するお問い合わせ ☎0120-438-240

投資信託についてのお問い合わせ、基準価額照会の受付を承ります。

受付時間: 平日/午前9時~午後5時 (祝日・12/31~1/3を除く)

## キャッシュピット受付センター ☎0120-56-8160

カードローン「常陽キャッシュピット」の電話での新規申し込み受付や商品照会の受付などを承ります。

受付時間: 平日・土・日・祝日/午前9時~午後9時 (12/31~1/3を除く)

## インターネットバンキング「アクセスジェイ」

個人のお客さま向けに、インターネットバンキングサービスを提供しています。パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用して、24時間いつでもお取引ができます。

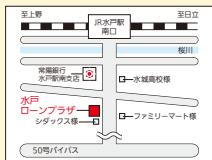
- 「アクセスジェイ」ホームページ <http://www.joyobank.co.jp/access-j/>

**ローンプラザ(平成25年10月31日現在)** 営業時間：午前9時～午後4時30分(全ローンプラザ共通) ●土曜日・日曜日も営業しています。

**月 火 水 木 金 土 日**  
(祝日・12/31～1/3定休)

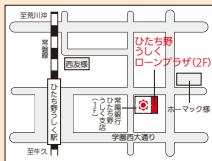
**水戸ローンプラザ**

☎029-247-6567  
水戸市元吉田町120-1



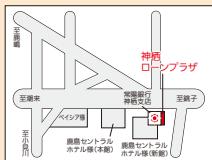
**ひたち野うしくローンプラザ**

☎029-871-3331  
牛久市ひたち野東1-25-15  
常陽銀行ひたち野うしく支店2階



**神栖ローンプラザ**

☎0299-93-2111  
神栖市大野原4-7-11  
常陽銀行神栖支店内



**小山ローンプラザ**

☎0285-22-1951  
栃木県小山市城東6-36-15  
常陽銀行小山東支店内



**月 火 水 木 金 土 日** (水曜日・祝日・12/30～1/3定休)

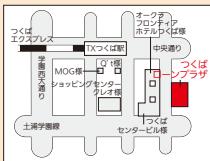
**日立ローンプラザ**

☎0294-23-1380  
日立市城南町3-3-31  
常陽銀行兎平支店2階



**つくばローンプラザ**

☎029-856-2621  
つくば市吾妻1-14-2  
常陽つくばビル1階



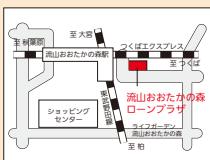
**郡山ローンプラザ**

☎024-935-2395  
福島県郡山市中町6-3  
常陽銀行郡山支店内  
※11月28日オープン



**流山おおたかの森ローンプラザ**

☎04-7156-1901  
千葉県流山市東初石6-183-1  
ライフガーデン流山おおたかの森1階  
常陽銀行流山おおたかの森支店内



**ひたちなかローンプラザ**

☎029-271-2311  
ひたちなか市勝田中央6-1  
常陽銀行勝田駅前出張所2階



**守谷ローンプラザ**

☎0297-46-3950  
守谷市中央1-22-10  
常陽銀行守谷支店内



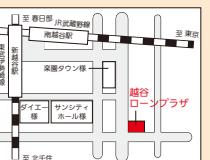
**いわきローンプラザ**

☎0246-22-7101  
福島県いわき市平二町目37-1  
常陽銀行平支店2階



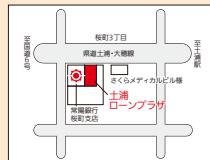
**越谷ローンプラザ**

☎048-985-2155  
埼玉県越谷市南越谷1-1-35  
常陽銀行越谷支店内



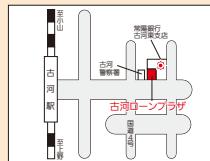
**土浦ローンプラザ**

☎029-823-8840  
土浦市桜町3-14-15  
常陽銀行桜町支店別館内



**古河ローンプラザ**

☎0280-32-8931  
古河市旭町1-1-15  
常陽銀行古河東支店内



**宇都宮ローンプラザ**

☎028-634-2631  
栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7  
NBF宇都宮ビル1階  
常陽銀行宇都宮東支店内



**さいたまローンプラザ**

☎048-643-8610  
埼玉県さいたま市大宮区仲町2-65-2  
Vスクエア大宮  
常陽銀行さいたま支店内



住宅ローンをはじめ各種個人ローンのほか、火災保険などの保険商品のご相談も承ります。また、ホームページからご来店予約ができます。



経営企画部広報室

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号

☎ 029-231-2151 (代表)

<http://www.joyobank.co.jp/>